

大阪市立 住まい情報センター

おんじや

住まいのガイドブック

volume

2026年春号

106

《特集》

バイロークルムーブメント

—よき商いを守り育てる365日の住民運動—

・大阪くらしの今昔館 news
まちかどから400年の歴史を体験する
—歴史目撃型XR「大阪百世」の監修から
新収蔵品紹介
明治の東京を熱狂させた上方の「巨大三味線」

・大阪市住まいのガイド
借りる・買う・建てる・建て替える
各種住宅施策のご案内

・トピックス
リースバックとリバースモーゲージ
概要とその注意点など

〈今月の表紙〉

特集の取材に集まってくださったみなさん。和菓子店・浪花餅にて（阿倍野区）



特集

バイローカルムーブメント

—よき商いを守り育てる

365日の住民運動

地域に点在する「よき商い」を、地域に住まう人が自ら利用し守り育てることで豊かに暮らせるまちをつくっていく。アメリカ・コロラド州で起こった市民運動を参考に、阿倍野区昭和町で「バイローカル(BUY LOCAL)」と呼ばれる取り組みが始まりました。直訳すると「地元で買おう!」。住人による住人のためのまちづくりは、多くの人が関わりながら続いています。中心となって取り組みを支えるみなさんにお話を聞きました。

半径2km、
自転車ですくなく15分くらいの範囲

阪堺電車・東天下茶屋駅は天王寺駅前駅からわずか3駅、自転車では10分ほどの距離にある。バイローカルの活動エリアは阿倍野区を中心に住吉区、東住吉区にまたがる。東天下茶屋駅のある阪堺電車上町線から、東はJR阪和線南田辺駅周辺の半径2kmほどの範囲(p2:エリアMAP)だ。

「バイローカルパートナーズ」*1(以下、バイローカル)の代表・土居直人(どいなおひと)さんは「近くに便利な商業施設もありますが、あくまでも住民の立場で、自分たち

の暮らしとまちを豊かにしていきたい。そのためにも地域でよき商いを続けるお店を知ってもらい、みんなで守り育てていくことが必要だという思いからバイローカルの活動が始まりました」と



バイローカルの代表・土居直人さん

*1:[バイローカルパートナーズ]
バイローカルを運営しているチーム

語る。企業で建築士として働いている土居さんは阿倍野区出身で、一度は離れた地元に戻ってきたのが、ビーローカルが始動する前の年だった。

ビーローカルの活動は一人の住民が地域で繋がりのある都市計画家や建築家にイベントの開催を相談したのがきっかけだった。当時、相談を受けた建築家の伴現太さんは、「声をかけられたのが、普段からまちづくりについて考えているメンバーだったこともあり、一過性のイベントはやりたくない」と意見が一致して、地域に住む人に向けた何かをやりたいという話になった」と振り返る。

**地元の人が地元の店を知り
きっかけづくり**

地元を愛して止まない地域住民6人でビーローカルを立ち上げ、活動を開始。2013年に桃ヶ池公園で初め



ビーローカルのメンバー・桂幸一郎さん



ビーローカルのメンバー・伴現太さん

て開催された青空市「バイローカルの日」には、地域にある30ほどの店舗が参加した。以後、毎年1回開催し、現在は長池公園に場所を替え毎回50店舗ほどが参加する。一度参加した店舗はすべてオリジナルのマップで紹介しており、今ではおよそ140店舗が掲載されている。

店舗選びの基準を聞くと、「統一された基準はないが、おすすめしたい店で、その理由を自分で語れること。あくまでも住民目線を忘れないように心がけています」と土居さん。年々認知度が高まり、来場者が増えて商品を買う行列ができるほど賑わうこともある。建築家の桂幸一郎さんは「混雑しすぎるとバイローカルとしては失敗です。店と住人、店同士が交流して顔の見える関係になってもらうための場だから、話をする余裕もない状況ではだめなんです」と語った。また、飯野大輝さんは「知っていたけど入りづらかった近所

の店や、新たに知った店に行きやすくなるような場にしたい」と話す。

**「日々の生活が豊かになる」が
キーワード**

バイローカルの日を開催する目的は、身近にある「よき商い」と出会い1年365日を通して日常的に利用するようになってもらうこと。「まちが元気になってほしい」と思っていてやっている。地域内で経済が循環するようになり、店が元気になるとまちが元気になったという実感を得やすい」と桂さん。その日限りではなく「日々の生活が豊かになる」ことを目指している。

「新しい店を出すなら、まち全体に活気

がある場所を選びたかった」と話すのは東天下茶屋駅前のTHE MARKET内でB・B・Q料理店を営む新城司さん。以前は池田市で店を開いていた新城さんが、新店舗を出すに当たり相談したビーローカルのメンバーで都市計画家の加藤寛之さんに「ここで一緒にやろう」と誘われた。「ここに来た2018年頃はシャッターが目立つ商店街で少し寂しい駅前だったけど、これから盛り上がっていくそうなのが見え始めていた。今



ビーローカルのメンバー・新城司さん



天王寺駅から
東天下茶屋駅は
自転車10分ほどで
行けますよ



バイローカルの活動エリア



あんじゅはウェブサイトでもご覧頂けます。



2025年の「パイローカルの日」。
地域の店と地域に住まう人が会うためのマーケット（青空市）

年から運営にも携わっている」と語った。

同じく、このエリアで園芸店とハンバーガーショップを営むのが庭師の藤野直人さん。阿倍野区で生まれ育ち、広島で造園の修行をした後に地元に戻ってきた。戻ってすぐは仕事がなく、地元の人たちが庭の剪定を頼んでくれたり、店舗の庭づくりを引き受ける機会が増え長池町に店舗を構えることができたという。

一方、ハンバーガーショップではパイローカルにも参加する3軒のパン屋からパンズを仕入れており、「パンズが美味しいと言われたらパン屋さんを紹介して、パン屋さんはハンバーガーの紹介をしてくれる。同じ地域の店同士

がつながってお互いに応援し合えるのがとてもいい」と藤野さんは話す。

職住近接・職住一体の暮らしがある

パイローカルのメンバーのほとんどが阿倍野区に住み、同じエリアで商いをしていく。パイローカルに参加する大半が

飲食店だが、ライバルではなく応援し合える関係をつくってき



パイローカルのメンバー・藤野直人さん

た。メンバーが店舗に参加をお願いする時には、必ず他の店のことを応援してくださいと伝えている。「お客さんを奪い合うのではなく、お互いのお店の良いところを紹介し合うことで、住民の期待値が高まり、まちに元気が出てくる状況をつくりたい」と土居さん。家族が地域で惣菜店を営んでいる伴さんは「住みながら商売をしているから、生活者でもある。遠くから通ってきて働くのとは違う地元に対しての思いがある」と話す。

コロナ禍も店同士の情報交換があったといい、「繁華街へは行かず、地元のお店を探すが増えた影響で、エリア全体が自然とパイローカルの状況になった」と新城さんは振り返る。夜の飲食店利用は減ったものの、テイクアウトや配達などで、日常品の需要は上がり、改めてローカルの繋がりの大切さを感じたという。

ささやかな出来事に日常の豊かさを感じる

「昔はこの商店街も店で埋まっていた賑やかだった」と教えてくれたのは、明治創業の老舗和菓子店・浪花餅の女将・山村美智子さん（やまむらみちこ）と夫の康幸さん（やすゆき）。康幸さんは3代目で、現在は息子



浪花餅の山村美智子さん（左）は毎日店頭立つ。先代の康幸さん（右）も店を守っている

の和幸さん（やすゆき）が4代目店主を務める。出張販売はしてこなかったが、パイローカルの日への参加がきっかけで、今では地域の夏祭りにも出店している。

長年地域に根付いた商いを続ける浪花餅には、取材時も次々と客が訪れ季節の和菓子などを買い求めていた。その中に小学生くらいの子どもが一人



2025年5月のパイローカルの日より。
4代目店主山村和幸さん（左）、美嘉さん（中央）、美智子さん（右）



新城さんのBBQ料理店のほかベーカリーカフェが入るTHE MARKET



浪花餅の向かい側にあるのがシエアスペースBLEND'Sとケーキ店の入る元歯科医院(手前)、その隣にグロッサリー店がある



「バイローカルの日」に参加した店舗が掲載されたMAP(左)。コロナ禍の2020年に作成された『昭和な町の未来地図』(右)には未来に出会いたい景色が描かれている

でおつかいに来る姿があった。自身も子育て中の土居さんは「まちを歩くと挨拶を交わす機会が増えた。子どもがお店に行つて店主と話をすると、何気ない出来事に日常の豊かさを感じる」と話す。設計事務所を営むかたわら子どもにサッカーを教える桂さんは、通りを歩く子どもたちに次々と声をかけていた。「子どもたちからはサッカーの仕事をしていると思われている」と笑う。

飯野さんは4年前からバイローカルに加わり、勤務先でも鉄道会社と共同でバイローカルを展開する事業に携わっている。大学生の時に、生業もバイローカルも楽しみながら取り組む大人たちの姿を見て、自分も関わりたいと引越

とても楽しかった。まちの人にまちのことを教えてもらえる、顔見知りが増える幸せはお金で買えないし、暮らしの安心感につながっていると話す。一方、阿倍野区出身の林田充功さんは、バイローカルの日が始まった時期から地元を離れていたこともあり、取り組みを知らなかったという。「東天下茶屋駅



バイローカルのメンバー・飯野大輝さん

8年前に阿倍野区へ転居してきた山下靖子さんは、「引越す前に参加したバイローカルのメンバーで不動産業を営む小山隆輝さん主催のまち歩きで、直接お店を紹介してもらったのが

顔見知りが増える
幸せと安心感

してきた。「昭和の人情味というか、店の人と会話をしたり、まちのことに関わることの楽しさを20代の僕らは知らない。それを面白いと教えてくれたのがメンバーのみなさんやこのまちだった」と語った。



山下靖子さん



林田充功さん

のすぐそばに店ができて、控えめな雰囲気だったこの場所にと驚いた。なんとなく店が増えたり、若い人を見かける機会が増えたように感じてはいた。高齢になってきた両親が、地域の中でも楽しく暮らせたいなと思う」と語った。

土居さんや桂さんからは「おすすめの



2023年に初めて開催した「ナイトバイローカル」の様子



阪堺電車上町線東天下茶屋駅の様子

店があったら教えてほしい」との声が。メンバーだけでは馴染みの店を増やすにも限りがあるため、いろんな人のおすめを知りたいそう。「一人の人間ができることには限りがあるが、地域のみなが楽しく無理のない範囲で継続することが大切」と土居さん。熱心だけど、無理をせず、生活の一部として楽しみながらバイローカルを続けているという。

バイだけじゃない、
これからの「○○ローカル」

10年以上取り組みを続けてきた中で、地域住民が地域のお店を利用することや、お店同士がお互いに応援し合うことが定着してきた。ビーローカルのみならず、今は自分たちが動かなくてもバイローカルは成り立つと感じている。バイローカルの日は1年に1度の楽しみでもあり、出会いの場として継続するつもりだが、今後は「バイ」以外の「ローカル」に取り組みたいという。

すでに始まっているのが、「TALK LOCAL」。加藤さんを中心に、地域の店のこだわりや、まちのことを聞くトーク番組の動画を配信している。土居さんがやってみたいのは「クリエイティブローカル」だ。飲食店は増えてきたが、ものづくりやアトリエなどは少なく、

ものづくりが好きな人たちが集える場づくりをしたいと考えている。また、子育て世帯や高齢者が過ごしやすいまちにするための「ローカル」にも取り組みたいという。伴さんは自身の事務所があるエリアで、小さなマーケットを開催している。「バイ」以外のローカルを一人一人が小さくやっていく機会も増えていきそうだ。

「バイローカルは、日常を豊かにしてくれるまちを自分たちでつくる取り組みだから、どの地域でもできるし、僕たちにもまだまだできることはたくさんあるはず。これからも地域の人たちを巻き込みながら、豊かなローカルをつくる活動を続けていきたい」と土居さんは語った。



土居さんが運営するシェアスペースBLENDにて

リースバックと
リバースモーゲージ
概要とその注意点など

リースバックは自宅を売却して家賃を払い住み続ける仕組み、リバースモーゲージは自宅を担保に融資を受けて死亡後に返済する仕組みです。どちらも住まいを活かして資金を得る方法ですが、特徴や注意点を理解したうえで検討することが大切です。



CFP認定者
一級ファイナンシャルプランニング技能士
J-FLEC認定アドバイザー 講師
内宮 慶之さん
うちみやま よしゆき

比較項目	リースバック	リバースモーゲージ
仕組み	自宅を売却し、賃貸として住み続ける	自宅を担保に融資を受ける(借金)
所有権	無し(買主へ移転)	有り(自分のもの)
対象物件	戸建て・マンション等(制限が少ない)	主に戸建て(資産価値が高いもの)
年齢制限	なし(現役世代も可能)	あり(主に55歳~60歳以上)
毎月の支払い	家賃が発生する	利息のみ支払う(元本据置が多い)
契約終了時	そのまま住み続けるか退去	本人死去後に自宅を売却して一括返済
相続人への影響	相続財産からは外れる	相続人が残債を返済するか、物件を売却
資金の用途	自由	自由(ただし投資・事業用は不可が多い)

リースバックのメリット・デメリット

メリット	デメリット
住み慣れた家に住み続けられる	売却価格が相場より安くなる
まとまった資金を得られる	所有権がなくなる
固定資産税等の維持費が不要になる	家賃が発生する
売却したことを近隣に知られずに済む	再契約ができない可能性がある
将来的に自宅を買い戻せる可能性がある	買い戻しが難しい場合がある

リバースモーゲージのメリット・デメリット

	メリット	デメリット
資金調達	自宅に住み続けながら 老後資金を確保できる	融資限度額が担保評価額の5~8割程度に 設定されることが多い
返済負担	生存中の毎月の支払いは利息のみ (または利息払いなし)で負担が少ない	長生きするほど利息の総支払額が増える (長寿リスク)
金利	低金利が継続すればメリットが大きい	変動金利型が多く、金利上昇リスクがある
相続	配偶者が契約を引き継いで 住み続けられる場合がある	相続人への事前説明と同意が不可欠であり、 トラブルの火種になる可能性がある

人生100年時代、長生きがリスクになり得る現代において、リースバックとリバースモーゲージは単なる「資金調達」ではなく、住まいを流動化させて、老後資金を作るという共通の目的を持ちます。この2つは「相反するもの」ではなく、資産状況やライフステージに応じた使い分けの選択肢と捉えることができます。

★リースバックの注意点

リースバックは持ち家から賃貸になることから、賃料(家賃)の支払い義務が生じます。その賃料は売却価格の10%が年間賃料の相場となっています。家賃の支払い能力の確認が必要です。
リースバックの契約上、買戻し特約が付されている場合、売却価格の110%~130%での買戻しが相場となっていることから、資金的な問題を考慮する必要があります。
住み続けることができる期間、修繕費や原状回復費用の負担等を、賃貸契約書において確認する必要があります。

★リバースモーゲージの注意点

変動金利型の場合、金利が上昇すると毎月の支払利息が増え、家計を圧迫する可能性があります。
金利上昇によって、最終的に元本と利息の合計が担保評価額を上回るリスクがあります。
不動産価格が下落すると、融資限度額が減額されたり、将来的に担保価値が不足して追加返済を求められたりする可能性があります。
利用できる物件の種類(例:マンションは不可)や所在地(例:主要都市のみ)に金融機関ごとの制約があるため、希望の物件が対象外となる場合があります。
リースバックもリバースモーゲージも、うまく使えば心強い選択肢になります。しかし、メリットだけでなく、将来の変化やリスクもきちんと見ておくことが大切です。大切な住まいに関わる選択だからこそ、焦らず慎重に。不安がある際には、専門家への相談も検討しましょう。

住まい情報センターでも住まいに関する相談をお受けしています。(9ページ参照)

住まいの相談窓口 06-6242-1177
(相談専用電話)



住まいを買う・建てる・建て替える・解体する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市新婚・子育て世帯向け分譲住宅購入融資利子補給制度	初めて住宅を取得する新婚世帯・子育て世帯を対象に、住宅ローンの利子の一部を補助します。なお、予算の範囲内で先着順に受付します。申込みにかかる資格要件につきましては窓口までお問い合わせください。	大阪市都市整備局 住宅支援受付窓口 (住まい情報センター4階) ●TEL:6356-0805●FAX:6356-0808
大阪市子育て安心マンション認定制度	‘子育てに配慮した仕様’と‘子育てを支援する環境’を備えた良質なマンションを認定し、その情報を大阪市ホームページ等で広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9648●FAX:6202-7064
大阪市防災力強化マンション認定制度	耐震性や耐火性等建物の安全性に関する基準に適合することに加え、被災時の生活維持に求められる設備・施設等の整備、住民による日常的な防災活動等により防災力が強化されたマンションを認定し、広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 密集市街地整備グループ ●TEL:6208-9235●FAX:6202-7025 ※重点対策地区の詳細はお問合せください。
民間老朽住宅建替支援事業	集合住宅への建替建設費補助	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口 (住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053●FAX:6882-0877 ※重点対策地区および対策地区の詳細はお問合せください。
	隣地を取得した戸建住宅への建替建設費補助	
	狭い道路に面した古い木造住宅の解体費補助	
防災空地活用型除却費補助制度	重点対策地区において、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築の木造住宅を解体し、跡地を災害時の避難等に役立つ防災空地として活用する場合、解体費用及び空地整備費用の一部を補助します。 ※本制度を活用して防災空地を整備した場合、土地の固定資産税・都市計画税が非課税になります(整備の翌年以降)。	大阪市都市整備局 密集市街地整備グループ ●TEL:6208-9235●FAX:6202-7025 ※重点対策地区の詳細はお問合せください。

住まいを改修する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市耐震診断・改修補助事業	一定の要件を満たす戸建住宅等の所有者等に対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事・耐震除却工事に要する費用の一部を補助します。また、木造住宅の所有者等に対して耐震事業者の情報を提供しています。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口 (住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053●FAX:6882-0877
大阪市空家利活用改修補助事業	空家の利活用に向けた安全で良質なストックへの改修を促進するため、住宅の性能向上に資する改修工事や地域まちづくりに資する用途への改修工事等に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口 (住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053●FAX:6882-0877
マンション耐震化緊急支援事業	一定の要件を満たすマンションの所有者や管理組合などに対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9226●FAX:6202-7064
ブロック塀等撤去促進事業	道路等に面した一定の高さ以上のブロック塀等の撤去および軽量フェンス等の新設工事に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9228●FAX:6202-7064
大阪市子育て世帯等向け民間賃貸住宅改修促進事業	LDK化や断熱改修、ユニットバスの新設・改良工事等、子育て世帯等の入居に資する改修工事を行う民間賃貸住宅のオーナーに対して、改修工事費の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9228●FAX:6202-7064
大阪市住宅省エネ改修促進事業	既存住宅における省エネ性能を向上するため、一定の要件を満たす窓の断熱改修等(内窓設置・外窓交換等)とそれらに併せて実施する躯体等(天井、屋根、壁又は床)の断熱改修、設備等の省エネ改修工事費の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9228●FAX:6202-7064
感震ブレーカー設置促進事業	火災発生の抑制が特に必要な密集市街地において、地震時に電気火災リスクを低減するため、感震ブレーカーの設置工事費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 密集市街地整備グループ ●TEL:6208-9233●FAX:6202-7025
大阪市地域魅力創出建築物修景事業(修景に関する無料相談など)	建物の修景の促進により地域魅力の創出を図るため、「修景相談」と「修景補助」を実施するとともに、修景された建物等を活かした「魅力発信等」に取組んでいます。まずはお気軽に建物の修景についてご相談ください(無料)。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631●FAX:6202-7064
高齢者住宅改修費給付事業	介護保険制度の居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給を受ける方が属する世帯等で、生活支援・介護予防の観点から真に住宅改修が必要と認められる世帯の住宅改修費用の一部を給付します。	各区保健福祉センター 保健福祉課
重度心身障がい者(児)住宅改修費給付事業	在宅の重度の身体・知的障がい者、難病患者等の方が、日常生活上の障がいの除去または軽減に直接効果のある改修工事を行うとき、工事費用の一部を給付します。所得制限があります(ただし、介護保険制度が適用される方は本制度の対象となりません)。なお、必ず事前に申請が必要です。	各区保健福祉センター 保健福祉課

分譲マンション管理組合の方へ

制度名称	制度概要	お問い合わせ
分譲マンション勉強会支援アドバイザー派遣制度	分譲マンションの管理組合等が実施する勉強会を支援するため、講師として一級建築士や弁護士等の専門家を無料で派遣し、一般的なアドバイスをを行います。	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9637●FAX:6202-7064
分譲マンション管理適正化支援アドバイザー派遣制度	築30年以上で管理に課題を抱える分譲マンションの管理の適正化を支援するため、マンション管理士等の専門家を無料で派遣し、解決に向けたアドバイスをを行います。	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9637●FAX:6202-7064
分譲マンション長期修繕計画作成費助成制度	長期修繕計画の作成又は見直しを行う管理組合に対して、作成費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3 補助限度額:1件あたり30万円	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9637●FAX:6202-7064
分譲マンション再生検討費助成制度	再生(改修や建替え等)に向けた検討を行う管理組合に対して、検討費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3 補助限度額:1回あたり60万円	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9637●FAX:6202-7064
分譲マンション管理計画認定制度	管理運営状況や長期修繕計画など、マンションの管理計画が一定の基準を満たす場合、「マンションの管理の適正化の推進に関する法律」に基づく認定が受けられます。	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9637●FAX:6202-7064
大阪市マンション管理支援機構	公共団体や、建築・法律等の専門家団体等が連携して、分譲マンションの管理組合を支援します。登録組合には、セミナーの開催案内や情報誌等を無料で送付します。	大阪市マンション管理支援機構事務局 (住まい情報センター4階) ●TEL:4801-8232●FAX:6354-8601

大阪市住まいのガイド

紹介している大阪市の公的賃貸住宅や各種制度について、より詳しくお聞きになりたい方は各窓口にお気軽にお問合せください。



「おおさか・あんじゅ・ネット」からもそれぞれの制度をご覧ください。

空家の利活用を応援します!! 「空家利活用改修補助事業」実施中!!

補助要件

- 平成12年5月31日以前に建築された戸建住宅または長屋建住宅であること
- 不動産市場に賃貸用または売却用として流通しておらず、3か月以上空家であること
- 既に耐震性を有していること、又は改修により所定の耐震性を確保すること
- 利活用事例として、大阪市の情報発信することに了承できること



改修前



改修後

大阪市 空家 補助

検索



補助の種類	住宅再生型	地域まちづくり活用型
補助対象者	空家所有者、空家取得予定者、賃借予定者等	非営利団体(NPO法人、社会福祉法人、公益法人等)等
補助内容	省エネ化やバリアフリー化といった、住宅の性能向上に資する改修工事費用の1/2(最大75万円)※	こども食堂や高齢者サロンといった、地域まちづくり活動の場として活用するために必要な改修工事費用の1/2(最大300万円)※

※上記以外にインスペクション(既存住宅状況調査)や耐震診断・設計、耐震改修工事に要する費用にも補助があります。

問合せ:大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備 受付窓口(住まい情報センター4階5番窓口)【電話】6882-7053 【FAX】6882-0877

住まいを借りる(公的賃貸住宅等)

- **市営住宅** ・住宅に困っておられる所得の低い方々向けの賃貸住宅です。原則として大阪市内にお住まいの方が対象です。
・収入基準は、一般世帯で158,000円以下、高齢者・障がい者世帯等で259,000円以下(月額所得額)となります。

募集種別(募集時期)	概要	お問い合わせ
定期募集等【抽選】 (例年7月上旬、11月上旬、2月上旬)	収入・同居親族等の条件があるほか、一般世帯、若者夫婦・子育て世帯、単身者向け等、各申込区分により申込資格を設定しています。一部の申込区分では、市内在勤の方も申込みができます。	市営住宅募集センター募集担当* ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7051
福祉目的募集【抽選】 (例年5月上旬)	ひとり親(配偶者のない方とその子ども(20歳未満)のみで構成する世帯)、高齢者(60歳以上)および障がい者(障がい者手帳(身体・精神・療育)等を所持していること)の方々が対象であり、各申込区分により申込資格を設定しています。申込書類は各区保健福祉センターで配布します。	ひとり親住宅/大阪市子ども青少年局 こども家庭課 ●TEL:6208-8035 ●FAX:6202-6963 高齢者向け住宅/大阪市福祉局 地域包括ケア推進課 ●TEL:6208-8060 ●FAX:6202-6964 障がい者向け住宅/大阪市福祉局 障がい福祉課 ●TEL:6208-8081 ●FAX:6202-6962
随時募集【先着順、一部抽選】	定期募集等において、応募者が募集戸数に満たなかった住戸について、先着順で随時募集を行っています。募集住戸の追加【例年、年3回(4月・8月・12月)】があり、追加住戸については、抽選で入居者を決定します。	市営住宅募集センター募集担当* ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7051

- **中堅層向け住宅** 公営住宅の収入基準を超えている方等、中堅所得者向け賃貸住宅(先着順)です。大阪市内にお住まいの方も申し込みができます。
- **その他の公的賃貸住宅**

住宅種別	お問い合わせ	管理者	お問い合わせ
大阪市管理 市営すまいりんぐ(子育て応援型)・市営すまいりんぐ・市営特定賃貸住宅・市営再開発住宅	市営住宅募集センター募集担当* ●TEL:6882-7012 ●FAX:6882-7051	大阪府住宅供給公社	大阪府住宅供給公社募集グループ ●TEL:6203-5454
大阪市住まい公社管理 公社一般賃貸住宅・公社すまいりんぐ	大阪市住まい公社募集担当 ●TEL:6882-9000 ●FAX:6882-7021	都市再生機構(UR都市機構)	UR梅田営業センター●TEL:6346-3456 空室情報フリーダイヤル:0120-23-3456

*市営住宅募集センター募集担当とは、大阪市営住宅指定管理者大阪市住宅供給公社市営住宅募集センター募集担当のことです。

民間賃貸住宅

制度名称	制度概要	お問い合わせ
セーフティネット住宅登録制度	低額所得者や高齢者、障がい者、子育て世帯等の住宅の確保に特に配慮を要する方の入居を拒まない住宅として、大阪市内に登録された民間賃貸住宅を、以下のサイトで検索できます。 (セーフティネット住宅情報提供システム)https://safety-net-jutaku.mlit.go.jp/guest/index.php	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9222 ●FAX:6202-7064
居住サポート住宅認定制度	日常生活を営むのに援助を必要とする要配慮者に対し、居住支援法人等による援助を提供する住宅として認定された住宅を以下のサイトで検索できます。 (居住サポート住宅情報提供システム)https://support-jutaku.mlit.go.jp/guest/index.php	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9648 ●FAX:6202-7064
サービス付き高齢者向け住宅登録制度	高齢者が安心して暮らすことができる住宅として、大阪市内に登録された住宅を、以下のサイトで検索できます。 (サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム)https://www.satsuki-jutaku.mlit.go.jp/	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9648 ●FAX:6202-7064
大阪あんぜん・あんしん賃貸住宅登録制度	高齢者、低額所得者、障がい者、外国人、子育て世帯等の入居を拒まない賃貸住宅や、その仲介を行う協力店、入居の支援を行う団体、相談の窓口等が、以下のサイトで検索できます。 (あんぜん・あんしん賃貸検索システム)http://sumai.osaka-anshin.com/	大阪府 居住企画課 ●TEL:6210-9707 ●FAX:6210-9712

大阪市立 住まい情報センターのご案内

●住まいに関するご相談をお受けしています **無料**

■住まいの一般相談（随時／窓口相談・電話相談）

公的賃貸住宅などの住まい探しをはじめ、住まいを購入するときや建てるときの一般的な注意点、分譲マンション管理に関する情報や大阪市を中心とした住宅施策などに関するご質問に、窓口または電話で相談員が対応します。まず相談内容をお聴きして、問題点の整理・解決のために必要な知識や情報を提供します。英語、中国語、韓国・朝鮮語にも対応します。（外国語対応は17時まで。なお、日曜日・祝日は16時まで。詳しくはお問い合わせください。）

相談専用電話 (06) 6242-1177

■住まいの専門家相談（予約制／面接相談）

ご予約は30日前からお受けしています。

お申込みに際しては、相談員が一般相談で内容をうかがってから予約します。詳しくはお問い合わせください。

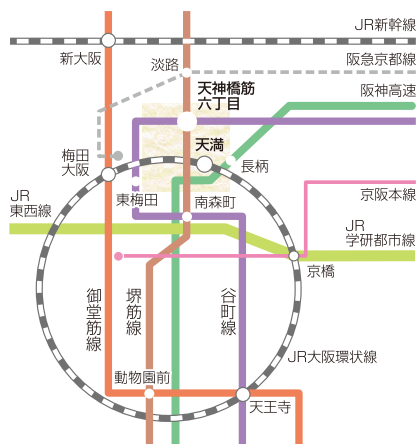
専門家相談日時	内容
住まいの法律 おおむね 毎週土曜日 (10時～13時30分)	借家・借地・土地・建物・相続等に関する法律上の相談(弁護士)
住まいの資金計画 おおむね 月1回土曜日 (10時30分～12時)	住宅取得やローン返済、高齢期の住まいと暮らしに関する資金計画等(ファイナンシャルプランナー)
建築・リフォーム おおむね 隔週土曜日 (10時～13時)	建築設計や施工上の問題・建築関係法令等(建築士)
分譲マンション(法律) 月1回日曜日 (13時～16時)	管理組合運営・管理規約等に関する法律上の相談(弁護士)
分譲マンション(管理一般) おおむね 毎週木曜日 (14時～18時)	管理組合運営・管理規約・長期修繕計画等に関する相談(マンション管理士)

■連携機関による定期相談（面接相談）

（公社）大阪府建築士会による建築相談：
毎週日曜日13時～16時（受付は当日の12時30分～15時30分）
※12時30分に相談を受ける順番の抽選があります。

近畿税理士会による税務相談（予約制）：
毎週土曜日（但し、2・3月を除く）13時～16時
（TEL.06-6242-1177で予約受付）

インフォメーション



交通アクセス

- Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電鉄「天神橋筋六丁目」駅下車3号出口直結
- JR大阪環状線「天満」駅から北へ約650m
- お車でお越しの場合は阪神高速道路「守口線」長柄出口 都島通り経由、約500m

開館時間

- 4階 住情報プラザ（相談・ライブラリー）
平日・土曜日/9:00～19:00（相談受付時間/10:00～18:00）
日曜日・祝日/10:00～17:00（相談受付時間/10:00～16:00）
- 3階 ホール/5階 研修室・会議室
平日・土曜日/9:00～21:00
日曜日・祝日/9:30～17:00

休館日

- 火曜日（祝日の場合は翌日）
 - 祝日の翌日（日曜日、月曜日の場合を除く）
 - 年末年始（12/29～1/3）
- ※上記のほか臨時休館する場合があります。

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 大阪市立住まい情報センター4階
TEL.06-6242-1160 FAX.06-6354-8601
おおさか・あんじゅ・ネット <https://www.osaka-angenet.jp/>



4階 住まいのライブラリー



●住まいのライブラリーで図書・雑誌などをご利用いただけます

住まいやくらし、大阪に関する図書、建築本や雑誌、機関誌、ミニコミ誌、企業広報誌、絵本などを自由に閲覧していただけます。また、図書の貸し出しも行っていきます（一部を除く）**無料**

●ホール・研修室をイベントや展示会・サークル活動・会議・研修会の場としてご利用いただけます **有料**

3階 ホール



定員：椅子のみの場合/300席（常設194席）
机利用の場合/150席
※控室もあります。

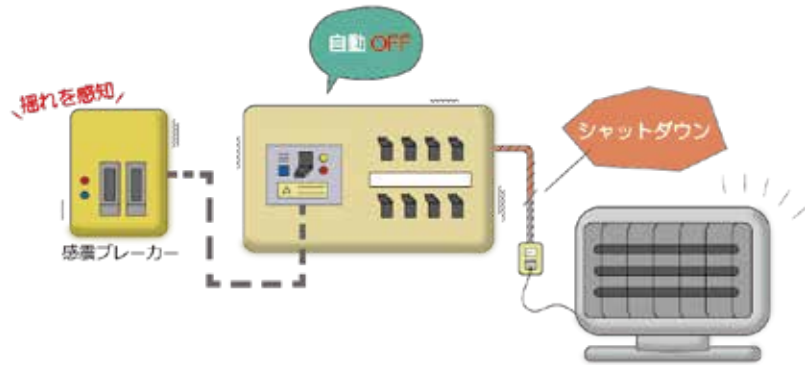
5階 研修室



定員：机利用の場合/常設54席
椅子のみの場合/70席
※研修室は区切って、少人数でもご利用いただけます。

MESSAGE メッセージボード BOARD

地震の時、自動で電気を遮断できる感震ブレーカーをつけましょう



地震における火災の原因の過半数は、揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧した時に発生する火災など、電気に起因するものとされています。

感震ブレーカーは、地震時に設定以上の揺れを感知した時に電気を自動的に止める器具で、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

特に、古い木造建物や狭い道路が多い密集市街地は、地震時の火災・延焼の危険性が高く、電気火災リスクを減らすために感震ブレーカーの設置が効果的です。

感震ブレーカーには様々なタイプのものがあり、ご家庭の状況に応じて設置するものを選ぶことができます。

● 感震ブレーカーのタイプ



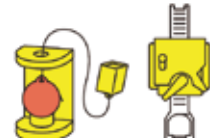
分電盤タイプ(内蔵型)



分電盤タイプ(後付型)



コンセントタイプ



簡易タイプ

出典:「感震ブレーカー普及啓発チラシ(内閣府・消防庁・経済産業省)」より

感震ブレーカーに関する詳細はこちらのホームページをご覧ください

地震による電気火災対策を!
(消防局HP)



地震による電気火災に備えましょう
(危機管理室HP)



● 感震ブレーカー改修工事の補助制度を開始します!

令和8年4月から、地震時に火災発生の抑制が特に必要なエリア(生野区の一部他)を対象に、ご家庭に分電盤タイプの感震ブレーカーを設置する改修工事費に対する補助制度を開始します。詳しくは右のQRコードからホームページをご覧ください。



【お問い合わせ】

都市整備局市街地整備部住環境整備課密集市街地整備グループ
電話:06-6208-9233 FAX:06-6202-7025

※やむを得ない状況により、定員の変更やセミナーを中止する場合がございます。その場合は「おおさか・あんじゅ・ネット」等でお知らせします。

1 住まい情報センター 主催イベント

住まい情報センターが主催するセミナー・イベントです

■住まいの基礎知識

◎住まいを購入する

第1回 住まいのお金編「はじめての住宅購入 資金計画と住宅ローン」 個別相談のみ当日抽選

- 日時：5月30日(土) 13:30~15:30
- 場所：3階ホール
- 講師：NPO法人 日本FP協会大阪支部所属FP
- 定員：会場50名オンライン100名
(いずれも申込先着順)
- 個別相談：定員4組(事前申込要)

第2回 戸建て住宅編「戸建て住宅を購入する」 第3回 分譲マンション編「分譲マンションを 購入前に知っておきたいこと」

- 日時：6月6日(土)
第2回13:30~15:00
第3回15:15~16:45
 - 場所：3階ホール
 - 講師：第2回(一社)大阪府宅地建物取引業協会
研修インストラクター
第3回(一社)大阪府宅地建物取引業協会
研修インストラクター
 - 定員：会場50名オンライン100名
(いずれも申込先着順)
- ※どちらかひとつでもご参加いただけます。

第4回 住まいの設計編「住まいをつくる/ リノベーションする」

- 日時：6月20日(土) 13:30~15:30
- 場所：3階ホール
- 講師：(公社)日本建築家協会 近畿支部
- 定員：会場50名オンライン100名
(いずれも申込先着順)

2 その他 住まい関連イベント

■大阪市マンション管理支援機構 マンション管理基礎セミナー

- 日時(予定)：6月21日(日)、28日(日)、7月26日(日)
- 場所(予定)：3階ホール
- 詳細は、大阪市マンション管理支援機構の
ホームページやチラシでご確認ください。
- お問合せ先：大阪市マンション管理支援機構
事務局 電話(06-4801-8232)

あんじゅ読者アンケートに ご協力ください!!

みなさんのお声をさらなる
紙面づくりに活かします。



ぜひご登録ください。

メルマガにご登録頂きますと、
住まい情報センター主催の
イベント情報が登録メールに配信されます。



あんじゅ バックナンバーは こちらから



参加申し込み方法

- ウェブサイトからの申し込み
申し込みは開催日の約2カ月前からになります。
- はがきまたはFAXで申し込み
記入事項を明記し、下記の住所、FAX番号へお申し込みください。
〒530-8582(住所不要)大阪市立住まい情報センター4F
FAX:06-6354-8601
- 記入事項：イベント名、住所、名前(フリガナ)、年齢、参加希望日、電話番号、手話通訳希望の有無、個別相談希望の有無など
- 参加費は特記以外無料、要事前申し込み。申込先着順の場合は、定員になり次第締切。抽選の場合は、締切後も定員に満たない場合は引き続き募集します。
- 申し込みの際の個人情報は、主催者で適切に管理し、イベントに関する連絡、統計データおよびイベント保険(必要な場合)への加入にのみ利用します。
- 午前8時45分時点で、「暴風警報」が発令されている場合は中止とさせていただきますが、セミナー開始3時間前までに解除された場合はセミナーを実施します。
- 手話通訳をご希望の方は開催2週間前までにお問い合わせください。
- オンライン受講を希望される方はウェブサイトからお申し込みください。

【注意】

一部のイベントを除き、参加証の発送はありません。
「申込先着順」のイベントにお申し込みいただいた場合は、イベント開催当日、直接会場にお越しください。「抽選」の場合に限り、はがきがEメールで当落をお知らせします。

おおさか・あんじゅ・ネット
▶<https://www.osaka-angenet.jp>



あんじゅ編集通信

この取材からふるさとを思い出し、放課後や休日に友人と近所の商店街の手作りアイスクンデー屋や和菓子屋に寄っておしゃべりしていたなあと懐かしい記憶に微笑ましい気持ちになりました。今はふるさとから離れて大阪で暮らしている私ですが、このように、お店の利用だけでは感じられないあたたかな体験をすることが減りました。あのときを思い出し、今住んでいるまちにはどんな「よき商い」があるのだろうと探したい気持ちでいっぱいです。

大阪は大規模商業施設やチェーン店が多く、生活に便利な地域です。しかし、ご近所とのつながりが希薄になった現代だからこそ、昭和のような人情味あふれる交流を意識した日々の暮らしも楽しんでいただけたらと思います。外に出ると心地良い、お出かけ日和の春です。是非この機会に住んでいるまちにどんな「よき商い」があるのか散歩がてら見てみませんか。気になるお店に入ってみてはいかがでしょうか。きっと、日常を豊かにしてくれるまちへと変化していくきっかけになるかと思います。取材にご協力いただいた皆様に改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。(N)

企画展

「文様彩集Ⅱ」

大阪くらしの今昔館のコレクションを中心として、大阪の旧家所縁の様々な作品に鏤(ちりば)められた多彩な文様を紹介する企画展「文様彩集(もんようさいしゅう)」の第2弾を開催します。

- ◆会 期: 令和8年4月25日～6月14日
- ◆会期中の休館日: 毎週火曜日(5月5日を除く)
- ◆主催: 大阪くらしの今昔館
- ◆観覧料: 企画展のみ: 500円



うめの花平糺
神戸雪汀
大正6年

常設展

■商家の賑わい

令和8年4月12日(日)まで

■夏祭りの飾り

令和8年4月18日(土)～8月31日(月)まで



イベント

ゴールデンウィークは今昔館におでかけ
5月2日(土)～5月6日(水・振休)

■紙芝居

5月2日(土)

①13:30～14:00 ②14:30～15:00

■おじゃみ作り

5月3日(日・祝) 13:00～15:00

・材料費:200円 ・当日先着15名

■今昔館の風景を額縁に飾ろう

5月4日(月・祝)

13:30～15:00

※最終受付14:30

・材料費:500円

・当日先着15名



■カプトを作ろう

5月5日(火・祝) 13:30～15:00

・材料費100円 ・当日先着16名

■あてもの

5月5日(火・祝) 10:00～16:00

・当日先着200名(小学生以下)

■すりごごとんぼに色をぬろう!

5月6日(水・振休)

13:00～15:00

※最終受付14:20

・材料費500円

・当日先着15名



ワークショップ

■組みひもストラップ作り

4月11日(土) 13:30～15:00

・材料費:300円 ・当日先着20名

■桜のキーホルダー作り

4月12日(日)

13:30～15:00

・材料費:300円

・当日先着16名



■折り紙を折ろう

4月18日(土)・6月20日(土) 13:30～15:00

・材料費:100円 ・当日先着16名

■水引で鯉のぼり飾り

4月25日(土)

13:30～15:00

・材料費:200円

・当日先着20名



■ポスターで紙袋を作ろう

5月9日(土)

13:30～15:00

・材料費:100円

・当日先着20名



■鶴のつなぎ折り

5月17日(日) 13:30～15:00

・材料費:100円 ・当日先着16名

■綿繰りと糸紡ぎ体験

5月23日(土)

13:30～15:00

・人数制限なし



■折り染め体験

6月13日(土) 13:30～15:00

・材料費:200円 ・当日先着20名

■手ぬぐい遊び

6月14日(日) 13:30～15:00

・材料費:200円 ・当日先着16名

■版木で多色版画を刷ろう

6月27日(土) 13:30～15:00

・材料費:200円 ・人数制限なし

■おじゃみ作り

毎月第1日曜日

13:00～15:00

・材料費:200円

・当日先着15名



■簡単折紙

毎月第2水曜日

14:00～15:30

・材料費:100円



見て聞いて楽しむ

■上方ことば塾

毎月 第2日曜日 14:30～15:00

■今昔語り

毎月 第3日曜日 14:30～15:00

■紙芝居

毎月 第1土曜日

14:30～15:00

毎月 第3日曜日

11:00～12:00



■絵本の時間

毎月 第4日曜日 14:30～15:00

■芝居語り

毎月 第4日曜日

①13:00～ ②14:00～ ③15:00～

大坂について学ぶ

■町家ツアー

平日・土曜日 10:20～

日曜日・祝日 13:10～

■町の解説

毎月 第1・3日曜日

13:00～15:00



※入場料(常設展)が必要です。
※費用の記述がないものは参加無料です。
※材料費は、当日お支払いください。
※日程等、予告なく変更になる場合がありますので予めご了承ください。
※定員があるワークショップは8階受付で12時から参加券を発行します。
※ワークショップは定員に達し次第終了します。

大阪市立住まいのミュージアム
大阪くらしの今昔館 



【9階なにわ町家の歳時記】

江戸時代の大坂の町並みを実物大で再現。大通りには、風呂屋や本屋、薬屋などが並び、ひとときわ高い火の見櫓も。路地を抜けると裏長屋の庶民の生活をかきまみれることもできます。



【8階モダン大阪パノラマ遊覧】

近代大阪の代表的な住まいと暮らしをジオラマや資料で再現。

開館時間

10:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日

火曜日(祝日は開館) 年末年始 その他臨時休館あり

4月～6月の休館日
4/ 7. 13. 14. 15. 16. 17. 21. 28
5/12. 19. 26
6/ 2. 9. 16. 23. 30

入場料

一 般 600円/団体500円(20名以上)
高・大学生 300円/団体200円(20名以上)(要学生証原本提示)
※中学生以下、障がい者手帳・マイイD提示者(介護者1名含む)、
市内在住の65才以上無料(要証明書原本提示)
※企画展示の観覧料は別途必要です。

交通機関

- Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電車『天神橋筋六丁目』駅下車 3号出口より住まい情報センター建物の地階へ連絡、エレベーターで8階へ
- JR大阪環状線『天満』駅から北へ約650m

〒530-0041

大阪市北区天神橋6丁目4-20(住まい情報センタービル8階)

TEL:06-6242-1170 FAX:06-6354-8601





歴史の流れと
まちかどからの視点

2025年7月から、大阪くらしの今昔館8階で歴史目撃型XR「大阪百世」が公開されています(注1)。XRは、実世界と仮想世界を組み合わせ、境界を越えた体験を可能にする技術の総称で、「大阪百世」ではGoogleとヘッドホンをつけ、過去の大阪の仮想世界を上下左右360度の視野で体験できます。今昔館は監修の立場で協力しました(注2)。

監修を終えてあらためて感じたのは、「大阪百世」の最大の特徴「視点を一つのまちかどに固定すること」の力です。私たちは日々、同じ道を歩き同じ場所で過ごします。同じだからこそ、まちの変化に気づきにくく、また気づきやすい。空き地に建物がたつ。建物が空き地になって、遠くの山並みが見える。街路樹が大きくなる。

見慣れた景色がいつのまにか変わっていることもよくあります。長い歴史のなかで人びとは、こうした体験を繰り返してきました。

今昔館では、9階に近世大坂の町並みを実物大で再現し、8階では近代の住まいの歴史を6つの精巧なジオラマ模型などで説明しています。大阪の歴史にとって重要な時代を選び、歴史の変化を顕著に示す場所を再現・復元しています。ただ、長い時代を通して同じ地点に立ち続ける体験はできませんでした。「大阪百世」は、XRの力を借りて歴史の流れを体感するための新しい試みです。既存の展示の間に流れる時間を、一つの視点から見通すことを目指しました。

ジオナサン・ハガード監督の視点

本作の監督は、ジオナサン・ハガード氏(注3)です。歴史や都市を題材に、時間の流れを映像で表現してきた映像制作者。アニメーターです。彼の作品は、一般的な



8階模型・生駒ビルディングと平野町通
この角から400年の歴史を目撃する

CG映像のように既存の画像を合成するものではありません。監督が一枚一枚描き起こし、三次元空間として構築した、いわば「手描きの三次元アニメーション」です。建物の形状や街路の奥行き、人びとの動きに至るまで、時間をかけて描かれています。制作にあたり、監督がとりわけ重視したのは「身近なくらしを描くこと」でした。壮大な眺望や象徴的な建物だけでなく、通りに立ち並ぶ町家とその店構え、そこでのやりとりを描きたい。とくに四つ角の変化のなかに、歴史の流れを表現したいという強い思いがありました。

四つ角は、人びとが交わる場所です。商人が店先に立ち、飛脚が走り、やがて市電が通り、車が行き交う。往來の変化そのものが、時代の移り変わりを語ります。監督は、その変化を一つのまちかどに凝縮したいと考えました。その視点が、堺筋平野町角という場所の選択につながりました。

なぜ堺筋平野町角なのか

視点をどこに定めるかは、最初の大きな課題でした。中之島や難波橋など、景観として印象的な場所も候補に挙がりました。しかし最終的に選ばれたのは、堺筋と平野町通が交わる角です。

江戸時代、堺筋は大阪を南北に貫く最重要の通りであり、北船場



出典:『商工技芸浪華之魁』1882年に描かれた(国立公文書館蔵本より)
※本図や古写真などを参考に作画



左:建物の復元例
右:『商工技芸浪華之魁』1882年に描かれた北西角の石崎喜兵衛家と復元

の中心でもありました。とりわけ砂糖商が集まる「砂糖の町」として知られ、小間物などを扱う店も並んでいました。平野町通は東西方向の主要街路のひとつで、両替商などの豪商や各地からの商品を扱う問屋などが立ち並び、夜店の賑わいもよく知られていました。近代には「軒切り」によって整備され、心齋橋の「心ブラ」に対して「平ブラ」と呼ばれたモダンな通りになります。町割は近世以来の街区構成を継承し、現在に至るまでその骨格を保っています。さらに大事な点は平野町通の延長線上に大坂城天守があったことで、1665年に焼失しますが、その天守台



1665年 復興した町並み・焼失前の徳川期大坂城天守が見える

の上に1931年、現在の天守閣が建てられています。

この角には、かつて櫓を掲げた建物がありました。特徴的な意匠は建て替えのちも意識され、記憶の痕跡として受け継がれました。近代には向いに生駒ビルディングが建ち(1930年)、現在も登録有形文化財として活用されています。

さらに重要なのは、今昔館8階に1932年設定の「堺筋」模型があることです。この模型は、綿密な調査にもとづき、街区や建物、当時の風俗まで再現しています。その模型のなかに立って、時代をさかのぼる体験ができることは、本作にとって大きな意味を持っています。

12の場面

本作は、約400年の歴史が12の場面で

構成され、そこには明と暗がくり返し現れます。出発点は、1615年の大坂夏の陣で、大坂城が焼け落ち町に煙が立ちこめます。戦乱という「暗」の時代です。しかしやがて、徳川幕府によって城が再建され、商都としての大坂が発展していき、町には商いの活気が戻ります。ところが、妙知焼などの大火が町を襲います。焼失と復興は、近世の大坂にとって繰り返される現実でした。19世紀には、大塩平八郎の乱が起こり、町は再び炎に包まれます。しかしその後、町は立ち直り、近代に入ると、堺筋は拡張されて市電が走り、近代建築が立ち並んで、「大大阪」発展の時代が訪れます。そして太平洋戦争末期の空襲によって市街は大きな被害を受け、四つ角の景色も一変しますが、戦後、町は再び立ち上がります。高度経済成長期にはビルが建ち並び、都市は新たな姿を見せます。そして最後は現代。生駒ビルディングが、歴史的建築として保存・活用されながら、新しい機能を担っています。焼け、失われ、再び建てられ、発展する。そのくり返しのなかで、大坂は形を変えながら発展してきました。12の場面は、その連なりを示しています。

監修でのこだわりいろいろ

監修の立場では、各場面に資料的な裏付けを与えることが求められました。道路の位置や幅、宅地の形、建物の規模などを確認し、時代ごとのまちの姿を検討しました。水帳や古地図、明治初年の地図などを参照しながら、町割・宅地割の継承と変化を追いました。その時代にどんな建物があった

のか「可能な限り資料を確認しました。

また、人物の服装や商家の店先の様子、商品の並べ方、看板や掲示物、乗り物の種類なども検討しました。四つ角の往来に現れる小さな変化が、時代の空気を伝えるからです。子供たちが歌った「おんごく」「馬車や電車の音、人びとの話し声など、音にもこだわっています。

建物の細部もこだわりました。それぞれに間取りを想定し外観の意匠を決めます。軒裏・建具なども厳密に考証していきます。時代ごとの町家の意匠の変化にも注目ください。

監修を通して感じたこと

作業を進めるなかであらためて実感したのは、当たり前ですが、都市の歴史は継



2024年の町並み 夜のまちかど 生駒ビルディングの灯りが堺筋を輝らす

承の積み重ねによって成り立っているというものでした。戦災で町が焼けた場面を検討するときも、建物の建て替えで町の様子は一変するのですが、道路の位置や区画の形は多くの場合そのまま残っています。個々の建物は刻々変化していくのですが、地面に刻まれた都市の骨格は、時代を越えて生き続けています。変わるものと変わらないもの。その両方があるからこそ、都市の歴史は立体的になります。

まちかどに立ち続ける体験は、歴史の証人になる体験でもあります。私たちはほんの瞬間を生きていますが、都市は長い時間を積み重ねています。ここではその厚みを、同じ視点から感じ取ることができます。その体験は、今昔館の既存展示を見るまなざしをも変えてくれるかもしれません。9階の近世の町並みや8階の模型が、時間の流れの中に位置づけられて見えてくるはず。大阪百世は、その想像力を後押しする展示です。10分間、同じ方向を見つめるもよし(大阪城方向と北西角の櫓の方向はおすすめ)、上下左右に目を向けるのもよし。それぞれに楽しんでいただけたらと思います。

※体験には入館料以外に別途料金が必要です。



歴史目撃型XR体験
コンテンツ「大阪百世」
Webサイト

- 注1: (株)大阪メトロアドエラ企画・制作
XR: Extended Realityの略
- 注2: 館の学術委員・岩間香先生、特別研究員新谷昭夫先生、植松清志先生にも参加いただいた
- 注3: アニメーションやVR作品で国際的に評価される映像作家。代表作『Replacements』2021年(邦題「諸行無常」)は、仏・アヌシー国際アニメーション映画祭でベストVR作品賞受賞

大阪くらしの今昔館 

news

発見	見て	行って
----	----	-----

新収蔵品紹介

明治の東京を熱狂させた上方の「巨大三味線」

服部 麻衣 (大阪くらしの今昔館学芸員)



図1 《大坂登り博覧会竹澤連》3枚続 絵師：囉斎国輝(二代目歌川国輝) 版元：辻岡屋亀吉 彫師：渡辺彫栄 明治7年(1874) 当館蔵

昨年の大阪は万国博覧会で大いに賑わいました。開催の前に「博覧会」という題字に目を留め、昨年度大阪くらしの今昔館で新たに収蔵したのがこちらの浮世絵です【図1】。

本図は明治7年(1874)に江戸で制作された、二代目歌川国輝(くにたか)による『大坂登り博覧会竹澤連』です。中央に描かれているのは、義大夫節(ぎだゆうぶし)の三味線の名手、七代目竹澤弥七(やなせ やしち)です【図2】。弥七は一般的な三味線の倍以上の大きさの「大三味線」を操ることで知られた上方の人気者でした。

弥七はまず大三味線を大きな撥(ぼち)で見事に演奏した後、通常の三味線に持ち替えて、撥の代わりに扇子を開閉させながら弾き、演奏が終わると扇子を「免」と見物席に投げ入れました。次に毛櫛(ぼらし)を使って演奏し、観客を驚かせました。本図の弥七の傍らにも扇子と毛櫛が描かれています【図2】。

会場となった浅草の寄席「三俵亭」の前には幟(のぼり)や看板が賑やかに立ち並びました。その実力を見ようと集まった江戸っ子たちも、弥七の圧倒的な演奏技術とパフォーマンスに魅了され、寄席は連日大入り満員となりました。

弥七は自身の多彩な芸を「開化博覧会(に)准(なぞら)(へ)」と書き残したと伝えられ、題字にもある「博覧会」のように目新しい芸を披露しようという意気込みがうかがえます。本作は、明治という新しい時代のもとの変化を遂げた上方芸能が、東京の人々を魅了していた様子を伝える資料です。

※『日本演劇とともに』河竹繁俊著 昭和39年刊を参照した。



図2 中央が七代目竹澤弥七。隣の竹澤宗七の三味線や撥と比べて大きい。